



・発行者・  
京都障害者  
スポーツ  
振興会

題字 芝田 徳造

### 卓球バレー大会に出場して

西陣工房は北区北野白梅町にある就労継続支援B型事業所です。平成16年に開所し、平成17年の全京都障害者総合スポーツ大会卓球バレー大会の部(以下全京都大会)に初出場して以来、14年連続出場し、今回、施設の部9連覇を達成し、京都代表として福井国体への出場を決定していただきました。全京都大会の他にも京都市ふれあい卓球バレー大会(こちらも9連覇中)はもちろん、府民総体、交流大会には毎年出場していますし、最近では日程が許せば、徳島大会、大分大会にも参加するようになりました。

卓球バレーは、近年、障害者国体でもオープン競技ながらたびたび実施され、全国的には着実に競技人口が増えているようです。大分大会などでは毎回実力のあるチームがひしめき、心地よい活気を感じます。ところが京都では、逆に全京都大会は参加チームが年々減少

し、今回は67チームと、最盛期の半分程度になってきているのはゆゆしき事態です。西陣工房が参加し始めた頃は施設の部だけでも30チーム程度の参加がありました。今回は17チームと半分程度に落ち込んでおり、予選リーグの数も減り、決勝トーナメントに上がるとすぐに準決勝からとなり、対戦チームがいつも同じ少数の限られたチームという新鮮味の無い状況になっています。

いろいろな大会に出場して感じるところですが、国体を含む他府県の大会では、京都の交流大会で行っているように、競技性を重視するクラスと交流を重視するクラスに分かれるだけです。しかし、京都の全京都大会と京都市ふれあい卓球バレー大会では競技性を重視するかどうかを問わずに一般、学校、施設に細分化され、学校、施設は少ないチームの枠組みに縛られた中で、さらに競技性

を重視するチームと重視しないチームとのミスマッチな試合も含んで予選が実施されま。施設の部のチームは一般の部、学校の部のチームとは対戦できません。歴史的な経緯があるとは思いますが、参加チームが減少している中で、競技性の重視を問わないばかりか、このように細分化することは、各部門での競技レベルを落とし、チーム間の交流も限定的なものにする弊害以外の何者でもありません。

近年、障害者国体での卓球バレーの開催が一般化し、昨年の日本卓球バレー連盟主催の全大会も恒常化した今日、京都代表チームを毎年、公正かつ容易に決める必要があります。そのためにも、全京都大会を障害者国体又は全国大会の京都予選と位置づけ、競技性を重んじるかどうかの分類はあっても、一般、学校、施設の枠をはずして総当たりとし、これに優勝すれば一般、学校、施設の区別無く京都代表として国体に出場できるといふシステムを作ることが卓球バレー全体の活性化につながるのではないかと思います。

そのためにも、チーム編成の標準化(大会によって障害者の定義や障害の無い者の扱いが異なる)や賞の設定など煩わし

い作業が伴うかも知れませんが、是非これを実現していただき、多くの参加チームが交流を広め、実力を伸ばし、夢の持てる卓球バレー大会にしていきたいと思っております。



就労継続支援B型事業所  
西陣工房 河合 隆

5月の中頃だったと思います。が、「ぼくらチーム」から大会に選手として参加をしないかと声をかけていただきました。選手としての参加は数年ぶりとなり、これまで正式なゲームは全くしておらず少し不安もありましたが、練習期間も少しあるので引き受けることにしました。

(裏面へ)

行事予定	8月	19(日)	第38回全京都障害者総合スポーツ大会 水泳大会	京都市障害者スポーツセンター	来月の つどいは
		26(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	9月	2(日)	第34回全京都車いす駅伝競走大会	丹波自然運動公園・周辺道路	9 / 9
		9(日)	第38回全京都障害者総合スポーツ大会陸上競技大会	京都市西京極陸上競技場	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010 <a href="http://www.spo-shin.net/">http://www.spo-shin.net/</a> [2018年リニューアルしました!]					第2 日曜日

(表面より)

今までのチームは同世代のメンバー(50〜60代)が中心でしたが、今回のチームは若い選手もたくさんいて、馴染めていけるかという不安もありました。仕事の関係で練習時間も十分に取れず、少ない時間の中でそれぞれの選手の特徴や障がいとの関係で苦手なところ(打ちにくいところなど)などをつかんで、お互いが助け合って練習ゲームを行いました。

私の卓球バレーとの出会いは、今から30年前(1988年)京都で開催された第24回全国身体障害者スポーツ大会「愛とふれあいの京都大会」で公開競技として紹介された時が初めてでした。その時は車イスバスケットの選手として出場していたためラケットを手にすることはありませんでしたが、その後全国にもどんどん拡がっていったように記憶をしています。そして、ラケットを手にして選手としては初めて見た時から12年ほど経過をした時に、今の職場(支援センター)で相談等に求められる利用者とともにチームを作り、大会に参加をしたのが最初でした。ちょうどその頃は卓球バレーも各行政区や施設で活発にされていた時期だったと思います。私たちのチームも毎週1回は練習を行っていました。私たちの

チームは「みんながレギュラーで試合に出たい、けれどもチームのメンバーが多く出る機会が少ない。」そんな思いを持っている仲間が集まりチームを作りました。そして、大会に参加をして優勝まではたどり着けませんでした。決勝トーナメントまでは出ることができていました。

そんな中で2年続けて、大分の太陽の家で開催された大会に呼ばれて遠征をしたことも大きな思い出になっています。1回目は大会前日に大阪南港からフェリーで出港し翌日早朝に別府に着き大会に参加をし、大会終了後にフェリーで帰ってくるというハードなスケジュールでしたが、2回目は1日大分で宿泊をして現地の選手との交流や阿蘇山観光などをして帰ってくる楽しい遠征になったことを、今回の参加で思い出しました。

その後は、数年前に審判講習会に参加をして、審判として何度か6月や12月の大会などに寄せてもらっています。なかなか審判としての行くことが出来ず技術も上達はできていませんが、今回審判の資格を取ってからプレーを行って勉強になることがいくつかあります。そのひとつは、卓球台の側面(長辺)から見ていると判ら

ないファールが後ろ側(短辺)からならとてもよく判りました。今後、審判を行う時には参考になりそうです。

今回は1セットもとること出来ませんでした。試合を通してメンバーとも年代を超えてチームワークもでき、次の時には必ず勝とうとみんなが確認をしました。

ぼぶらA 江村裕之

### 第38回全京都障害者総合スポーツ大会参加者募集

参加資格 京都府内に在住・在勤・在学し、障害者手帳(身体・療育・精神)を持つ12歳以上の人  
参加申込・問合せ先 所定の申込書に必要事項を記入し(男子は黒書、女子は朱書)、申し込んで下さい。※

#### アーチェリー大会の部

日時 平成30年9月22日(土)

午前10時〜午後4時

受付 9時30分

会場 南丹市日吉総合運動広場

南丹市胡麻

主管 京都府アーチェリー連盟

競技種目

「初心者」の部 5m

「初級者の部」10m

「中級者の部」20m

「上級者の部」30mダブルラウン

ド及び50m・30m ラウンド及び50m ダブルラウンド

「特別種目ボウガン使用の部」10m  
初心者の部は午前中に講習を受け、午後に競技を行う

参加費 500円

申込締め切り 8月13日(月)

留意事項

種目申し込みについては、各人の練習・競技等の経験・力量に留意して申し込んで下さい  
全く経験のない人については初心者の部5メートルに申し込んで下さい

フライングディスク大会  
日時 平成30年10月7日(日)  
午前10時〜午後4時  
受付 9時30分  
会場 京都府立丹波自然運動公園 園体育館・補助競技場  
京丹波町曾根

主管 京都障害者フライスグデイスク協会

競技方法  
ディスクス投げた距離を競う(アキュラシー)的に入った数を競う)

男女別、立位・座位投法別

参加費 500円

申込締め切り 9月3日(月)

留意事項

室内用運動靴を持参下さい

### パラリンピックにチャレンジ

京都障害児童・生徒スポーツ体験会  
参加資格 京都府内の小学校・中学校、高校、特別支援学校の在籍で、障害者手帳(身体・療育・精神)所持者。但し、特別支援学校・特別支援学校在籍生については手帳の所持は問いません。  
参加申込・問合せ先  
所定の申込書に必要事項を記入し(男子は黒書、女子は朱書)、申し込んで下さい。※

#### 水泳競技体験会

日時 平成30年9月16日(日)

午後1時30分〜4時30分

会場 京都府立伏見港公園温水プール(京阪「中書島駅」南)

その他・パラアスリートイックスス

イミングチームによる演技発表と体験会を行います・希望者にはカヌーの試乗体験を行います

※申し込みはいずれも  
〒606-8106  
京都市左京区高野玉岡町5  
京都市障害者スポーツセンター内  
(一社)京都障害者スポーツ振興会  
電話・FAX 075-712-7010

当日午前7時現在、京都府内に

暴風警報が発令されていれば中止